

創業計画書【記入例】

お名前 ○ ○ ○ ○

- この書類は、ご面談にかかる時間を短縮するために活用させていただきます。お手数ですが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。
- なお、本書類はお返しできませんので、あらかじめご了承ください。
- お手数ですが、可能な範囲でご記入いただき、借入申込書に添えてご提出ください。
- この書類に代えて、お客さまご自身が作成された計画書をご提出いただいても結構です。

創業のきっかけ、経歴、技術、事業の特徴などのポイントを記入してください。

[平成 ○年 ○月 ○日作成]

1 創業の動機

業種	学習塾	創業(予定)時期	平成 ○年 ○月
創業されるのは、どのような目的、動機からですか。	<ul style="list-style-type: none"> 以前から自分の留学経験を生かして英語塾を創業したいと思っていた。 単なる知識の詰め込みではなく、生徒が英語感覚を身に付けられるような指導をしたいと思っていた。 〇〇駅近くに、立地、広さともにちょうど良い物件が見つかった。 		

2 事業の経験等

過去にご自分で事業を営んでいたことはありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を営んでいたことはない。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあり、現在もその事業を続けている。 <input type="checkbox"/> 事業を営んでいたことがあるが、既にその事業をやめている。[→ やめた時期: 年 月]			
この事業の経験はありますか。(お勤め先、勤務年数など創業に至るまでのご経歴)	年月	略歴・沿革		
	平成○年○月	〇〇外国語大学大学院卒業(英語教育学専攻) 大学在学中アメリカの△△大学へ交換留学の経験あり(2年間)。		
	平成○年○月~	〇△進学予備校にて6年勤務(現在の月給35万円)。		
	平成○年○月	退職予定(退職金70万円)		
取得されている資格	有 (英検1級(平成○年○月取得))・特になし			
創業される方(法人の場合、代表者の方)の現在のお借入の状況(事業資金を除きます。)	お借入先名	お使いみち	お借入残高	年間返済額
	〇〇銀行△△支店	住宅・国・教育・カード・その他	76万円	24万円
		住宅・車・教育・カード・その他	万円	万円
		住宅・車・教育・カード・その他	万円	万円

3 取扱商品・サービス

お取扱の商品・サービスを具体的に教えてください。	①英語(英文法、長文読解等)(小学生、中学生、高校生対象) 1コマ60分~90分 2,000円~3,000円/コマ	(売上シェア 82%)
	②英会話(幼児教室、日常会話等)月4回 月謝制12,000円	(売上シェア 18%)
	③	(売上シェア %)
セールスポイントは何ですか。	<ul style="list-style-type: none"> 英文法を、より感覚的に捉えられるように教える。 生徒一人一人のレベルに合うよう、個別指導の時間に力を入れる。 	

4 取引先・取引条件等

	取引先名(所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件	取引先名(所在地等)	シェア	掛取引の割合	回収・支払の条件
販売先	一般個人 (〇〇駅周辺の学生(近隣に小学校7校、中学校5校、高校5校)、会社員及び近隣住民)	%	%	日払 20日までに翌月分を現金回収	<ul style="list-style-type: none"> 販売先・仕入先との結びつきがあれば記入しましょう。契約書・注文書などがあれば添付してください。 販売・仕入条件について確認しておく必要があります。立地選定理由についても触れましょう。 	%	%	日払 日回収
	〇〇学館(株)(〇〇市〇〇) (現職先の仕入先)(教材など)	50%	100%	末日払 翌末日支払		%	%	日払 日回収
仕入先	××商店(〇〇区〇〇) (現職先の仕入先)(文具など)	50%	100%	末日払 翌末日支払		%	%	日払 日回収
		%	%	日払		%	%	日払
外注先		%	%	日払		%	%	日払
従業員等	常勤従業員の人数(法人の方のみ)			人	人件費の支払 末日払 翌15日支払 (ボーナスの支給月 月、月)			
	従業員数(うち家族)			1人(1人)				
	パート・アルバイト			0人				

・借入金の返済元金はここから支払われることとなります。
・個人営業の場合、事業主分の人件費はここに含まれます。

5 必要な資金と調達の方法

必要な資金	金額	調達の方法	金額
設備資金 店舗、工場、機械、備品、車両など(内訳) ・店舗内装工事・看板設置(〇〇杜見積のとおり) ・事務機器・備品(〇〇杜見積のとおり) ・保証金	520万円	自己資金	270万円
	300万円	親、兄弟、知人、友人等からの借入(内訳・返済方法)	万円
	100万円	日本政策金融公庫 国民生活事業からの借入 元金5万円×80回(年〇.〇%)	400万円
	120万円	他の金融機関等からの借入(内訳・返済方法)	万円
運転資金 商品仕入、経費支払資金など(内訳) ・広告宣伝費 ・教材購入資金 ・諸経費支払	150万円	金額は一致します。	
	50万円		
	20万円		
	80万円		
合計	670万円	合計	670万円

6 事業の見通し(月平均)

	創業当初	軌道に乗った後(〇年〇月頃)	売上高、売上原価(仕入高)、経費を計算された根拠をご記入ください。
売上高①	69万円	89万円	<創業当初> ①売上高 英語 小5・小6 2,000円/コマ×4コマ×1人×2学年分=11万円 中1~中3 2,500円/コマ×4コマ×1人×3学年分=21万円 高1~高3 3,000円/コマ×4コマ×1人×3学年分=25万円 英会話 月謝制12,000円×10人=12万円 ③人件費 専従者1人(妻)5万円 家賃20万円 支払利息 400万円×年〇.〇%÷12ヵ月=1万円 その他宣伝広告費、光熱費、消耗品費等 15万円
売上原価②(仕入高)	0万円	0万円	
人件費(注)	5万円	8万円	
家賃	20万円	20万円	
経費	支払利息	1万円	1万円
	その他	15万円	17万円
	合計③	41万円	46万円
利益①-②-③	28万円	43万円	<軌道に乗った後> ①創業時から13倍は可能(勤務時の経験から) ③人件費 3万円増 その他諸経費 2万円増 (注)個人営業の場合、事業主の分は含めません。

ほかに参考となる資料がございましたら、計画書に添えてご提出ください。

(日本政策金融公庫 国民生活事業)